

☺ ごあいさつ ☺

日ごろから、ファミリーサポートセンター介護型・認知症サポートセンターの事業に対し、ご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。

今後も皆さまの地域で支え合うお気持ちを大切に、医療・介護・福祉・地域住民の方と連携しながら、支え合いのまちづくりをめざせるよう努めてまいります！

そして支援活動を通して生まれる、つながり・関わり合いが、皆さまお互いの健康な生活を整える一助になりますようお願いしています。

☺ 支えたり支えられたり お互いさま♪☺

報告書

- ☺利用者さんが台所にお庭のお花を生けられてました！かわいいですね♪
帰りにお花をいただいて、いつものようにご夫婦お2人のお見送りで帰ってきました。

☺利用者さん宅で☺



利用者さんが工夫されて
花びんにかぶせた
フルーツキャップ(保護ネット)
がおしゃれです♪

認知症の症状がある
利用者さんご夫婦の優しい気持ちと
お力を引き出しながら
ご支援いただいています♪

☺提供会員さん宅で☺



いただいたお花を自宅で
生けました♪
優しい気持ちになりました♪

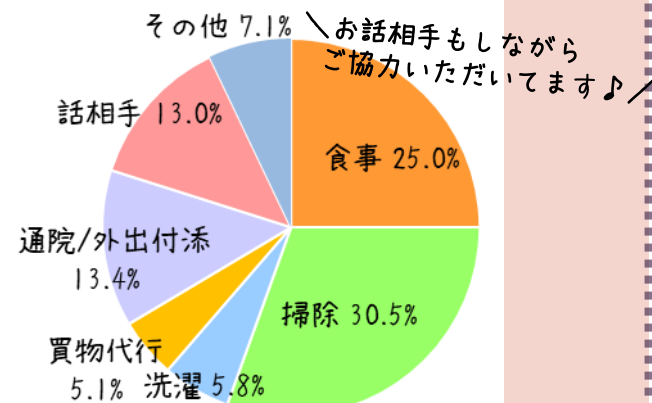
☺ もくじ ☺

- P 1 ごあいさつ
- P 2 支援活動の紹介 ～ ファミサポ介護型
- P 3 開催行事の紹介
- P 4 支援活動の紹介 ～ 認知症サポートセンター
- P 5 認知症ケアのポイント
- P 6 センター事務局からのお願い



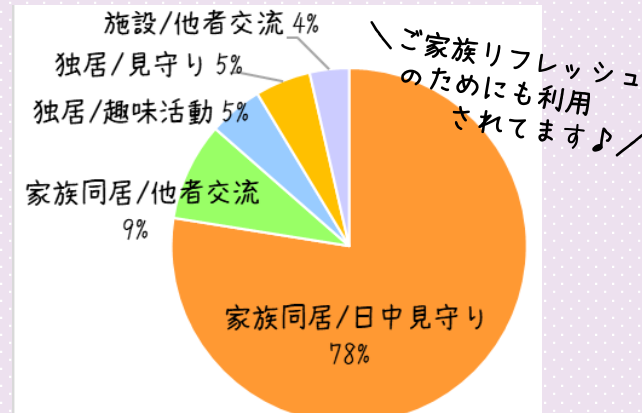
☺ ファミサポはどんな支援内容が多いの？ ☺

支援内容別活動件数の割合
(令和5年4月～令和6年1月)



☺ 認サポはどんな理由での利用が多いの？ ☺

利用理由別活動件数の割合
(令和5年4月～令和6年1月)



センター事務局からのお願い

- ☺利用・活動時の体調確認について
今後も感染予防対策のため、体調不良のときは利用・活動を控えるよう、お願いいたします。

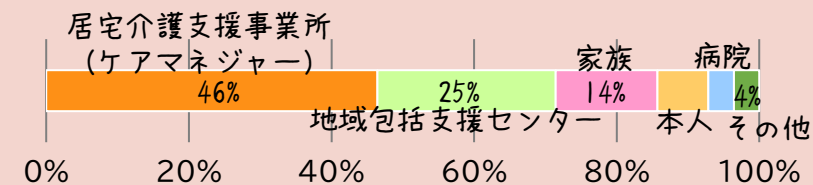
- ☺支援活動予定の連絡について
利用・活動の予定が変更や追加になる場合は、センター事務局へ必ずご連絡をくださいますようお願いいたします。

- ☺郵送物の送付について
ご住所・ご連絡先の変更があった場合や状況が変わられた場合などは、センター事務局へご連絡をお願いします。

- ☺異常気象や災害発生時について
異常気象により悪天候が予想される場合、活動を中止する方向で対応をお願いしています。支援活動中の突然の災害発生を想定し、普段から万が一の避難場所や経路を確認するようにしましょう。

☺ ファミサポ利用相談はどんなところからくるの？ ☺

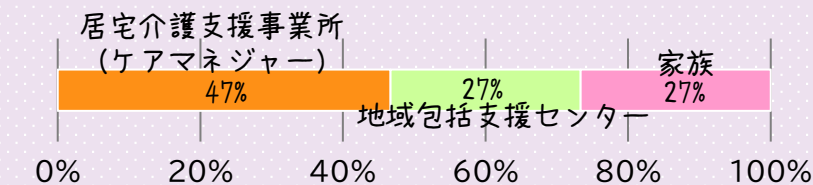
新規利用相談受先の割合 (令和5年4月～令和6年1月)



※ケアマネジャーさんからの相談が多いですね♪

☺ 認サポ利用相談はどんなところからくるの？ ☺

新規利用相談受先の割合 (令和5年4月～令和6年1月)



旭川ファミリーサポートセンター「介護型」・旭川認知症サポートセンター

〒070-0035

旭川市5条通4丁目旭川市ときわ市民ホール1階
社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会 5条事務所

TEL / 0166-90-1449

FAX / 0166-23-0746

E-mail / fami_ninsapo@asahikawa-shakyo.or.jp



開設時間
8:45 ~ 17:15
(土・日・祝日年末年始を除く)



支援活動の紹介 ファミサポ ～買物と掃除の支援～

ご夫婦で体調を気遣いながら家事を分担してなさっていたSさん。足腰等の調子を悪くされ買物など大変になられた平成28年に、買物代行とお掃除の支援を提供会員Kさんに週2回お願いされるようになりました。

途中で介護保険の認定も受けられて、訪問介護の利用も検討しましたが、気が合う提供会員Kさんに続けて来てもらいたいと希望され、現在も週1回、継続しています♪



チラシのコレね♪

電話で聞き取った買物をして訪問♪

いつもありがとう♪

開始♪

コレ頼むね♪

買って来ましたよ～♪

買物袋から出して冷蔵庫に！

お掃除開始！



報告書や代金など一緒に確認します！

拭き掃除しながらお話し♪

買物袋の中に残っていないか確認中♪

よろしくね～♪

また来週ね～♪

終了♪

利用者
Sさんより

最初は誰かに手伝いに来てもらうのは少し抵抗があって、利用しないつもりでしたが、息子が手続きもしてくれたので利用してみました。どんな人が来るのか不安に思っていたら、Kさんは最初からとっても気が合う人でした。

それからずっと気兼ねなく好きなように話ができてうれしく思っています。

つい話が長くなると、夫がKさんの帰る時間をいつも気にかけてくれていました。季節によって、たまにお願いしたい所のお掃除も頼めるので本当に助かっています。

提供会員
Kさんより

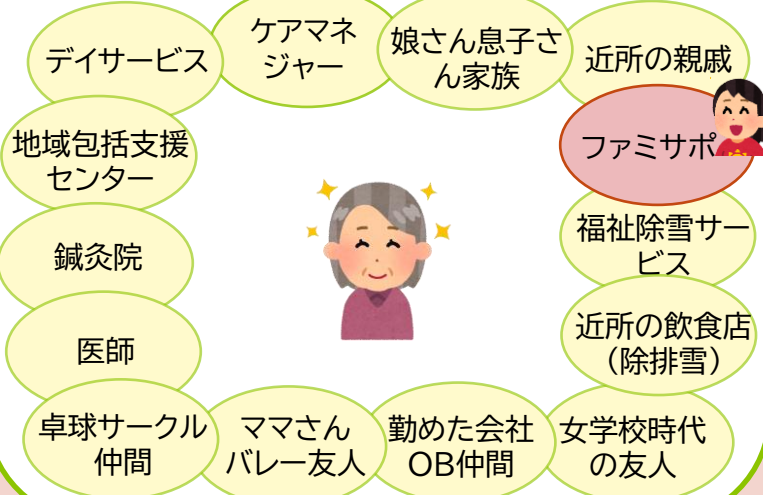
事前打ち合わせの時からSさんと会話が弾み、初対面とは思えませんでした。

コロナ禍では、買った物を玄関前に置き、ベランダ越しにお互い笑顔で手を振ってコミュニケーションを取っていました。

またSさんはお料理も上手で、苦手な私でも作れるレシピを教えていただき、今では我が家の定番料理になっています。

毎週いろいろなお話をし、その際、人生の先輩としても教えていただくことも多く、楽しくご支援させていただいています。

☺ Sさんを支える
各関係機関や地域とのつながり ☺



デイサービス

ケアマネジャー

娘さん息子さん家族

近所の親戚

地域包括支援センター

ファミサポ

鍼灸院

福祉除雪サービス

医師

近所の飲食店(除排雪)

卓球サークル仲間

ママさんバレー友人

勤めた会社OB仲間

女学校時代の友人

開催行事の紹介 ファミサポ 認サポ 合同

来年度も皆さん是非ご参加くださいね♪

提供会員養成講座 (令和5年7月・8月・10月・12月)

- ・ときわ市民ホール
- ・北部住民センター
- ・緑が丘地域活動センター
- ・グリーンパル
- ・シニア大学・大学院で開催しました！
- ・合計19名の方が提供会員登録されました♪



- ☺ 養成講座内容 ☺
- ・事業の概要
 - ・支援活動の流れと留意点
 - ・車椅子の介助・実習
 - ・高齢者に多い疾患・症状と対処(講師/地域包括支援センター保健師)
 - ・認知症の方への接し方と支援(講師/認知症看護認定看護師)

スキルアップ講習会 (令和5年9月)

☺ 講師 ☺
旭川市社会福祉協議会
会長 桑島保夫



「心を開いて優しくつながる地域づくり ～27年の民生委員活動から伝えられること～」というテーマでお話いただきました！暮らしの困りごとの相談を受けて解決された事例や、みんなで愉しむイベントを通じた地域づくりについて、また、その継続の原動力と信条についてのお話を伺いました♪

- ☺ アンケートより ☺
- ・民生委員として長く活動されているお話は、町内でもよくある話が多く、とても参考になりました。
 - ・心を開いて優しく接すれば、専門家でも解決が難しいトラブルも、うまくいくことを知りました。
 - ・同じ活動をされている方々と会話ができて元気をいただきました。



提供会員交流会 (令和5年11月)

第1回ときわ市民ホール・第2回東部住民センター

「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるための支援について」というテーマでお話いただきました！地域包括支援センターの仕事についてや、認知症の方に寄り添う支援やサービス、社会資源についてなど、学ぶことができました♪

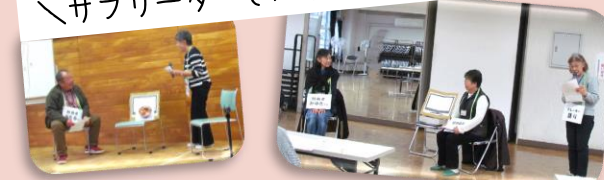
☺ 講師 ☺
東光地域包括支援センター
精神保健福祉士 赤間 由佳理 氏

☺ ブチ芝居 ☺

利用者さん宅で「これから家に帰りたい」と利用者さんに言われた支援活動事例のブチ芝居を見て、対応をみんなで考えました！



サブリーダーさん名演技♪



- ☺ アンケートより ☺
- ・支援までのプロセスが解り、とても良かったです。
 - ・どういうふうに対応するのか、いろいろな例を見ることができて、参考になりました。
 - ・いろいろな体験話を聞くことが出来て良かったです。

支援活動の紹介 ～見守りとお話相手の支援～

認サポ

依頼会員
ご主人 Kさんより

いつも助かってます！
おかげで安心して買物に
行けています♪



いつもお互い気にかけて思いやり深い
素敵なKさんご夫妻★認知症の症状
がある要介護4の奥さまをご主人が
介護されています。

介護保険サービス等利用されていますが、ご主人は
健康のためにも毎日お買い物に出かけられるので、
ご主人が不在の間に奥さまの見守りとお話し相手の
支援をお2人の提供会員さんに依頼しています。

ご主人の姿が見えないと奥さまは心配されますが、
提供会員さんから「お買い物からもうすぐ戻られま
すよ」と声かけすると、安心してくださり一緒にお
帰りを待つご支援になっています。



報告書

- ☺ 持ってきていた紙芝居を
やると「なんだか涙が出て
くる。またやってね」と
言って下さいました。
- ☺ 背中とお尻が痛いと言われるので、
そこをなでると、私の背中もなで
てくれました！
- ☺ 「誰？」と聞かれたので名乗ると、
「あ～良かった大好きだから」と言っ
て下さり、嬉しいお言葉でした。



提供会員
Nさんより



提供会員
Sさんより



Kご夫妻と出会い早1年。奥さまは、いつ
も「ありがとう、すみません」と言われ、
時には「頑張りましょう」と励まして下さい
ます。ご主人は「試練だと受け止めていま
す」と語られていました。

89歳の私の母、65歳の私、生老病死は
永遠のテーマ、他人事ではなく、自分事と
して理解するきっかけができ、感謝してあ
ります。

短い時間で、力も及びませんが、ご夫妻が
少しでも安心して暮らせるよう自分の今、
出来る事に努めたいと思います。

☺ Kさんご夫妻を支える
各関係機関や地域とのつながり ☺



支援活動をしている友人に紹介されて、軽い
気持ちで講習会に参加しました。友人がしてい
た支援内容とは随分違ってましたが、それはそ
れでとても勉強になりました。

奥さまは認知症の症状がありますが、ご主人
がとても優しい方で、こんな優しい人もいるん
だと感心しました。

私は主人に先立たれたのですが、もっと優し
くしてあげればよかったと大反省する思いで
した。ここのご主人に多くの人に会っていただ
きたいとつくづく想っています。

認知症ケアのポイント

☺ 認知症看護認定看護師 ☺ 佐藤 千尋 氏

認知症の方の日常の行動を支える関わりとは？

認知症が、進行していくと今まで出来ていた日常の行動が難しくなっていく、といわれています
しかし、今までの出来ていた動作が難しくなっていくのであって、
出来なくなってしまうのではないという認識がとても大切です。

例えば・・・

料理が出来なくなりました・・・



とうもろこしを茹でることが出来ている

「とうもろこしを茹でる」
という行為は、

① 茹でることが必要なモノ
と判断する

② 茹でる為には 鍋が必要と
判断し、鍋を取り出す

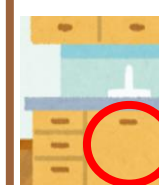
③ 茹でる為には水が必要と判断し、鍋の中に水を入れる

④ とうもろこしを鍋に入れ、火を点け 温める・・・など 沢山の工程があり茹で上がる

このように・・・

料理の場面に限らず 日々何気ない生活の場面には 沢山の工程があり、一つの動作として成り立つ
ものが多くあります(途中で中断したり、最後まで出来ない等の状態を **実行(遂行)機能障害** といいます)

料理が出来ないということは、「料理」の中のどの部分が難しいのかを理解していく必要があります。



↑上記の方は 鍋を探していた為
棚の中に鍋があることを伝える為に
声をかけ、棚に直接触れる という関わりのみで
棚に意識を向け、自分で棚の扉を開け、鍋を取り出すことができました

実行(遂行)機能障害は、記憶障害
など他の認知症による症状との
関連も多いといわれています

もし、「料理が出来ない」と私たちも思い込み、すべてを手伝ってしまうと・・・



←これらの出来ていた工程が
出来なくなってしまうことに繋がってしまいます

認知症ケア3つのポイント

小さな反応を見つける

手を動かそうとする・前のめりになる・
表情が変化するなどの反応は「興味がある」
「出来そう」といったサインかもしれません
待つことで見えてくる反応もあります

さり気ないアシストを

可能な部分は 継続できるように
困っている場合は 言葉かけ・手を
添える・見本となって動作で伝え
るなど さり気ない優しさで

直接聞くことが
最も大切

どの場面の どの部分
が難しいと感じ、希望す
ることは何でしょうか
不安な様子から感じ取り
ゆっくり聞くことが大切

認知機能の低下や体の機能の変化によって、日常生活での方法や手順が今までと違ってしまっても、結果的に
間違いではないことは多くあります。関わる私たちが、「これは、こうしなきゃならない、こう使うもの」という
認識自体を変えていくことも、認知症の方の自由な生活に繋がる方法の1つになるのかもしれない。